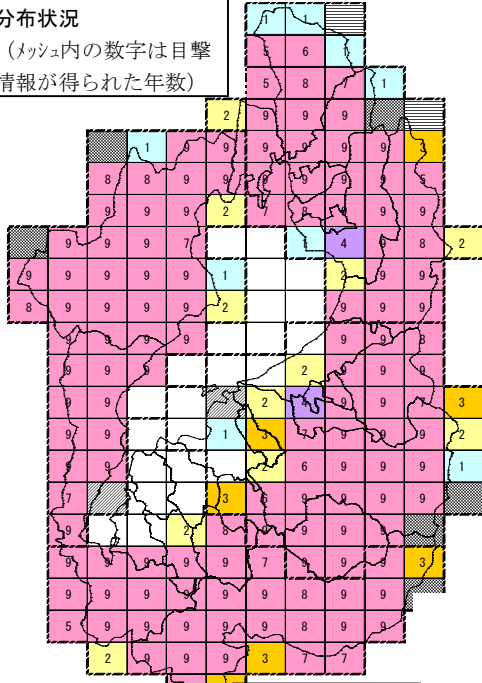


# 滋賀県ニホンジカ特定鳥獣保護管理計画（第2次）の概要

## 現 状

### 分布状況

(メッシュ内の数字は目撃情報が得られた年数)



### □分布状況

- シカの分布可能な地域にはほぼ全て分布し、定着地域も拡大。

### □生息数の動向

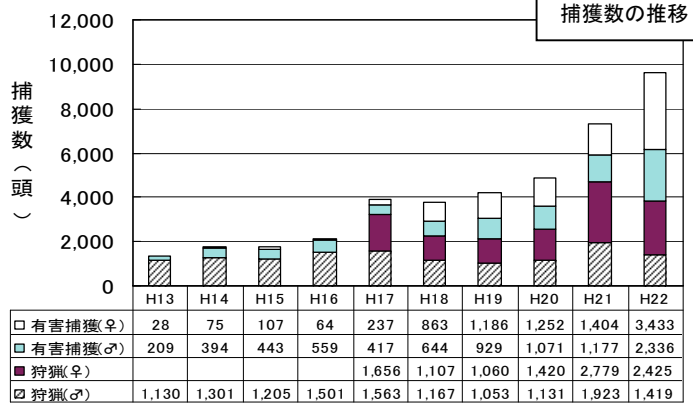
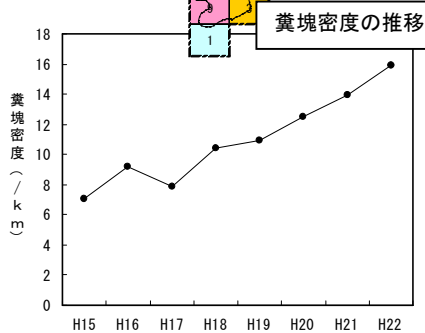
- 生息密度指標である糞塊密度は、上昇傾向にあり、県全体では平成15年度の約2.2倍にまで上昇。

### □捕獲数の推移

- 平成22年度には、第1次計画の捕獲目標数8,500頭を上回る9,613頭を捕獲。

### □被害状況

- 農林業被害に加え、森林生態系の衰退による公益的機能の低下が顕著。



## 計画期間

平成24年4月1日～平成29年3月31日まで

## 計画の実施区域

県内全域（県内を4つの地域に区分して管理）

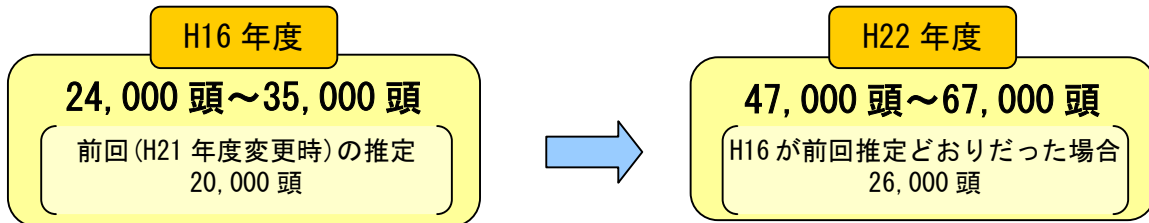
- 湖南地域：大津市(国道1号以南の区域)、草津市、守山市、栗東市、野洲市、甲賀市、湖南市
- 湖東地域：彦根市、近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
- 湖北地域：長浜市、米原市
- 湖西地域：大津市(国道1号以北の区域)、高島市

## 保護管理の目標

- 農林業や生態系への被害を軽減する
- 個体群の安定的維持を図る

## 第2次計画のポイント

### 推定生息数の見直し



管理地域別推定生息数					
H22年度推定個体数	湖南東部	湖南西部	湖東地域	湖北地域	湖西地域
47,000頭	3,612	3,033	13,985	11,367	15,003
67,000頭	5,149	4,324	19,936	16,204	21,387

### 個体数管理

#### 個体数の管理目標

環境省が示す基準 3～5頭/km<sup>2</sup>を目標に保護管理を実施。  
中間値 4頭/km<sup>2</sup>を当てはめた本県の最終的に目指す適正頭数は8,000頭。

#### H29年度にH22年度生息数から半減させる捕獲頭数

H22年度 67,000頭、57,000頭、47,000頭 の場合  
年16,000頭、年13,000頭、年11,000頭  
捕獲するとH22生息数から約半減

#### 年間捕獲目標

〔 従来の年間捕獲目標 8,500頭 〕

安全側にたって、年間16000頭（メスは少なくとも9,600頭以上）の捕獲を目指しつつ、当面は捕獲能力最大限での捕獲を実施する。

捕獲余力のある狩猟期間（冬期）の捕獲数の拡大

狩猟者の拡大など捕獲体制の整備

高標高域・奥山での捕獲の推進

### 被害防除対策

#### 農業被害

- ・防護柵の設置
- ・集落全体での維持管理

#### 林業・生態系被害

- ・防護柵、防護ネット、テープ巻き

#### 森林生態系の衰退

- ・小面積を囲う保護柵設置

### 生息環境の整備

#### 森林の保全・整備

- ・伐採箇所の小面積・分散化（餌となる草地の抑制）

#### 集落・農地周辺の管理

- ・餌となるものの極力排除や隠れ場所の刈り払い
- ・集落環境点検の実施 等